

1. 短期予測 (p. 1)

- ① [意外に短命か、小泉政権] 総選挙での小泉連立政権勝利は確実だが、拉致問題、イラク派兵問題、道路公団問題などで躓き、意外に短命に終わる可能性あり。
- ② [リップルウッド、三菱、ロックフェラー] 三菱商事を中心に、リップルウッド、ゴールドマン、ロックフェラーが日本の第三次国際化を仕掛ける。

2. 展望①ブッシュ側近チームの変化 (p. 4)

- ① [アイアン・トライアングルの2人は既に去った] ブッシュ再選の司令塔、カール・ロウブ大統領顧問への攻撃激化。
- ② [3人のゴールドマン出身者] 実物経済重視→金融経済重視路線を引っ張るブッシュ政権内のゴールドマン・サックス出身の3要人。

3. 展望②国内政局 (p. 6)

- ① [総選挙情勢] 投票率60%前後で自民党単独過半数か。投票率70%超、道路公団スキャンダル、あるいは公明党=創価学会の内部異変では民主党勝利もある。
- ② [池田大作重病説と学会=公明党の動き] 池田不在で選挙運動が鈍化。池田管理資金口座も凍結で、学会=公明党は親小泉か、親民主党かの岐路に。

4. 展望③中東情勢 (p. 8)

- ① [「クリーン・ブレイク」構想] 96年当時イスラエルのネタニヤフ首相に中東全域の「民主化」構想がリチャード・パールらによって提示されていた。
- ② [トルコのイラク派兵とイスラエルのシリア攻撃] イスラエルの30年ぶりのシリア空爆、トルコのイラク派兵決定は大イスラエル主義成就への一里塚か。

5. 展望④露ユコス社株売却交渉の背景 (p. 10)

露石油大手ユコス・シブネフチ社株のエクソン・モービルへの売却を巡り、ロシア内のユダヤ人問題に対するプーチン政権の対応が注目される。